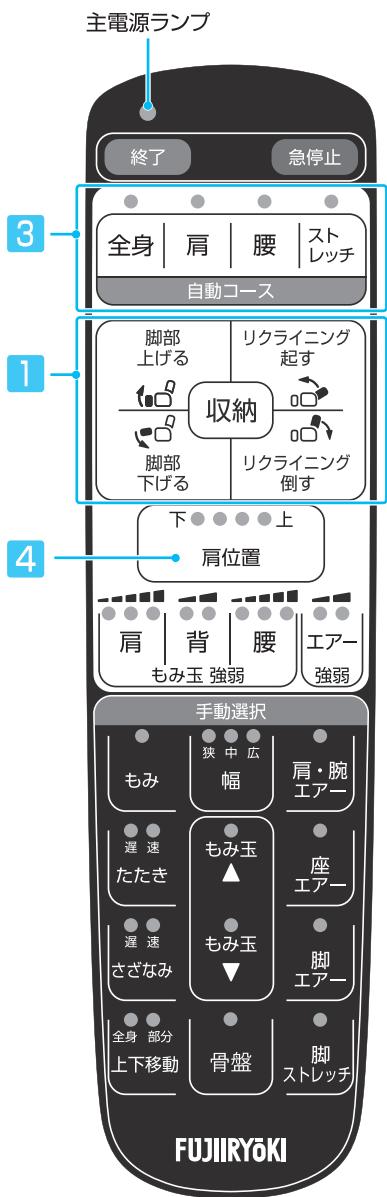


TR-20 カンタン操作ガイド



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。
点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

自動コース

- 1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

脚部：
上げる を押すと脚部が上がります。
下げる を押すと脚部が下がります。
背部：
起す を押すと背もたれ部が起き上がります。
倒す を押すと背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。

- 2 脚部右側の脚部反転レバーを引いて回転させ、
お好みの状態(脚もみ、フットレスト)でお使い
ください。

- 3 全身 肩 腰 ストレッチ からお好みのコースを
選択してください。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

- 4 自動コースを押すともみ玉が肩位置を自動的
に検知します。
検知した肩位置は、**肩位置** を押すと変更できます。



自動コースの種類

- 全身** 全身のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 肩** 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 腰** 腰のコリや疲れをやわらげるコースです。
- ストレッチ** ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

肩位置 でお好みの肩位置に調節します。
● 肩位置は、7段階から選択できます。

肩の強さを調節したいとき

肩 でお好みの強さに調節します。
● 肩強さは、5段階から選択できます。

背の強さを調節したいとき

背 でお好みの強さに調節します。
● 背強さは、2段階から選択できます。

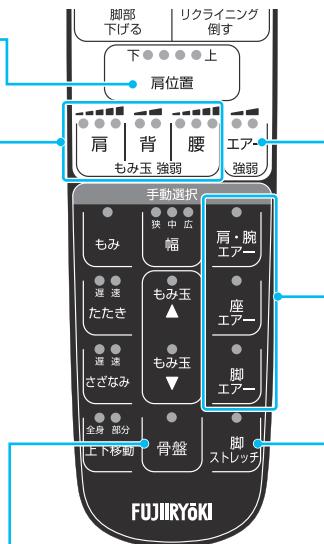
腰の強さを調節したいとき

腰 でお好みの強さに調節します。
● 腰強さは、5段階から選択できます。

骨盤モードを「入・切」したいとき

骨盤 を押します。

● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 座エアーを「切」にすると、骨盤モードも同時に「切」に切り替わります。



エアー強さを調節したいとき

エア でお好みの強さに調節します。
● エア強さは、2段階から選択できます。
※ エアの強さ調節は部位ごとに調節はできません。

肩・腕・座・脚エアーを「入・切」したいとき

肩・腕エアー **座エアー** **脚エアー** を押します。

● それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 脚ストレッチが「入」の状態で脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

脚ストレッチ を押します。

● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 脚ストレッチが「入」の状態で脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

強さのランプ		
強さ	ランプの点灯	
	5段階 (肩・腰)	2段階 (背・エア)
弱 1	○ ● ●	○ ●
2	○ ○ ●	● ○
3	● ○ ●	○…点灯
4	● ○ ○	●…消灯
強 5	● ● ○	

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意



警告

- (1) 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服(ズボンなど)のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・ブレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓[そく](塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師に相談する。
(詳しくは取扱説明書を参照)
- (11) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (12) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (13) リクライニングするときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やベッド、物がないことを確認する。
- (14) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。